資　料　５
練馬区基本構想審議会
平成 20 年 9 月 24 日

新基本構想について寄せられた意見（平成 20 年 9 月 24 日現在）

１　防災倉庫の設置について

○区民懇談会において、「マンションの５階位ごとに、災害用の防災倉庫を設置すべき」ということを検討しているが、５階位ごとに防災倉庫を設置することに加えて、１階部分に主たる防災倉庫を設置すべきと考える。

２　練馬区の将来像等について

○終末医療について、家族に迷惑をかけることなく逝きたいと思う人のために、その意思を事前に示すためのカード、ドナーカードのような延命治療拒否カードのようなものが公的な機関で作られないものか。

○近くの民間遊び場がなくなる。民間遊び場はボールが使えたり、大きな木があって木登りができたりした貴重な場所だった。また、ボーイスカウトの荷物を置かせてもらえたり餅つきができた。区の公園ではそういうことはできないと思う。温暖化で壁面緑化などという前にそういう貴重な場所を保持していってもらえるように体制を整えてほしい。ぜひ貴重な緑の空間を残してほしい。

○練馬区の畑をもっと区民に開放してもらいたい。練馬は 23 区の中でも畑が残っているほうだと聞いたが、高齢化と税金対策、などの理由により畑は減る一方と聞いた。なんとか貴重な畑を残してもらいたい。

子どもたちが自然体験するキャンプなども、地元でできればこんないいことはない。野菜収穫ラリー等どんどんすすめてほしい。

また、ぜひ援農ボランティア制度を確立してほしい。メタボ対策にもよいのではないか。登校拒否の子やうつ気味の人にもよいのではないか。

持ち主が税金に苦しんでいるのならなんとかしてほしい。温暖化抑制になるのだし補助金が出てもいいのではないか。

温暖化対策としてはたとえば空き地になっているところに菜の花を植えるようにしていくのもどうか。とてもきれいだし、菜種で油が取れれば練馬でもバイオエタノールがつくれるのではないか。

３　環境まちづくり分野について

〇強い光をやわらげてくれる木立が必要だ。中村 1 丁目に出来る公園も、背が高く、どこまでものびていく木立の公園であってほしい。高い木にめぐまれた町並であって欲しい。
ビルやマンションの壁は、つたをはわせるのを義務づけるとか、天井階の菜園や道路際の花壇の整備、緑地帯を増やすことなどを進めてほしい。
緑化に関して、大胆に構想を打ち出してほしい。

〇駅前周辺の街づくりについて、吉祥寺など他の進んでいる街に学んで、計画的に進めてほしい。